国有林野所在市町村の魅力紹介

秋田県湯沢市（ゆざわし）

秋田森林管理署湯沢支署

湯沢市は秋田県南部に位置し、宮城県及び山形県と接しています。佐竹義宜公の秋田への国替えにあたり、山形から入部し、湯沢市関口地区から北に広がる横手盆地の美田を見て、国造りの決意を固めたという言い伝えがあります。

湯沢城址からの市街及び横手盆地

湯沢市を中心に広がる土地は肥沃な土地で、美人を育てる秋田米「あきたこまち」の主要な生産地の一つです。

美味しい米と美味しい水があれば、美味しい日本酒が醸造できます。湯沢市はかつて「東北の灘」とも呼ばれており、市内に蔵元が軒を並べ、上質な日本酒を醸造します。

国登録有形文化財の蔵元の建物

このほかにも、ブランド化されたイチゴ、サクランボ、ブドウ、リンゴ、セリ等四季折々の農産物や、日本三大うどんに数えられる稲庭うどん、湯沢ラーメンと呼ばれる麺類など、美味しい食物に恵まれています。

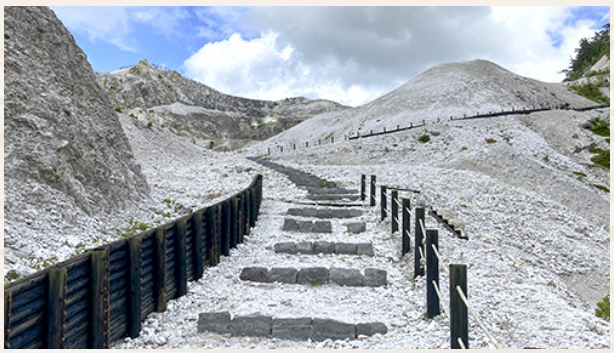
なお、稲庭うどんの地元として、「全国まるごとうどんEXPO in 秋田」が今年は10月１日（土）、２日（日）に開催され、全国各地のうどんが湯沢市に結集します。

秋田県のブランド米「あきたこまち」は、平安時代の歌人で世界三大美人の小野小町にちなんで命名されていますが、湯沢市小野地区の出身とされています。毎年６月には「小町まつり」が開催され、小野小町を偲びます。

小町娘（写真：湯沢市提供）

京から輿入れされた佐竹義宜公の奥様の郷愁をなぐさめたことから始まった、美人画が描かれた灯籠や５色の短冊を吊した青竹が街中に飾られる「七夕絵どうろうまつり」も夏の風物詩です。

さらに、湯沢市が位置する西栗駒一帯は日本でも有数の地熱賦存地帯と言われ、小安峡、大湯、泥湯、秋ノ宮といった著名な温泉があります。また、日本三大霊地に数えられる「川原毛地獄」は、火山活動で白色化した岩石で一面が覆われ、妖しい美しさが荒涼とした景観を醸し出しています。



川原毛地獄を登る遊歩道

これら太古の噴火や火山活動等によって形成された地形や、人間の営みによって築かれた遺構などが「ゆざわジオパーク」に認定され、わかりやすく紹介されています。

湯沢市はこれらの資源を「地熱のまち」として、発電や地域振興に活用しています。

このように湯沢市は豊かな資源に加え、美人や美食の魅力が散りばめられています。

お問合せ先：湯沢市観光・ジオパーク推進課　Tel 0183-55-8180